

授業概要

分野	学科目	2年前後期		90分講義15回 (試験を含む)
専門分野	小児看護学方法論Ⅲ	30 時間	1 単位	
授業科目		講師		
小児疾患、小児の事例展開		医師、専任教員(実務経験者)		
科目 目標	1.小児に特有な疾患とその治療を理解する。 2.健康問題をもつ小児の主な事例の展開方法がわかる。			
	回数	項目	内容	
科目 内容	1	小児の疾患と治療	1.遺伝子・染色体の異常と形態異常 遺伝性疾患、先天性代謝異常とマススクリーニング、染色体異常症	
	2		2.新生児の特徴と疾患 メナ、新生児仮死、呼吸窮迫症候群、胎便吸引症候群、低出生体重児	
	3		3.消化器疾患 肥厚性幽門狭窄症ヒルシュスプリング、腸重積、乳児下痢症、胆道閉鎖症、鼠径ヘルニア	
	4		4.内分泌・代謝疾患 糖尿病	
	5		5.神経・筋疾患 てんかん、熱性痙攣、脳性麻痺、髄膜炎、水頭症、脳炎	
	6		6.腎尿路疾患 急性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群	
	7		7.血液疾患・小児がん 貧血、特発性血小板減少性紫斑病、白血病、神経芽細胞腫	
	8		8.循環器疾患 心室中隔欠損、ファロー四徴症、川崎病、乳幼児突然死症候群	
	9		9.免疫疾患・膠原病 若年性関節リウマチ	
	10		10.呼吸器疾患 痙攣性クループ、急性細気管支炎	
	11		11.アレルギー疾患 気管支喘息	
	12		12.感染症 しょう紅熱、百日咳、水痘、麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、ポリオ、突発性発疹	
	13	小児における 主な事例の展開	1. 小児の主な事例の展開 (川崎病、ネフローゼ症候群)	
	14		1) アセスメントおよび援助の方向性 ① 成長・発達段階の理解と今後の予測 ② 疾患や入院が小児および家族に及ぼす影響	
	15		2) 援助計画 ① 日課や遊びを取り入れた援助 ② 病気の理解と自己管理に向けた援助 ③ 小児および家族への指導(ロールプレイング)	
		試験	試験およびまとめ	
【授業形態】 小児の疾患と治療: 講義 小児の事例展開 : 講義、グループワーク、演習				
【評価方法】 筆記試験、出席状況、レポート				
【テキスト】 系統看護学講座 専門 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学[1] 医学書院 系統看護学講座 専門 小児臨床看護各論 小児看護学[2] 医学書院 系統看護学講座 専門 母性看護学各論 母性看護学[2] 医学書院				